

■「架け橋 長島・奈良を結ぶ会」の歴史と活動

1979年、「回復者の方と友だちになろう」と、初めて岡山県のハンセン病療養所を訪れました。それ以来、「茶粥パーティー」「落語の会」「コンサート」など様々な交流を積み重ね、「架け橋の会」は、昨年で結成40年を迎えました。

療養所への訪問を続ける中で、回復者の方たちの話を聴かせていただき、それまで知ろうとしてこなかった「ハンセン病問題、差別の現実」に出会いました。私たちは、「回復者の方と友だちになろう」という出発点を大切にしながら、ハンセン病患者やその家族の方々が受けた過酷な差別の歴史を繰り返さないために、啓発や教育活動に取り組んでいます。

■「架け橋美術展」について

療養所の方々の「作品発表の場がほしい。」という声を聞き、1982年に第1回「架け橋美術展」を開催しました。その後、県内各地で「架け橋美術展」を開催してきましたが、療養所の皆さんの平均年齢が85歳を越えたこともあり、昨年度の第35回をもってその歴史に幕をおろしました。「架け橋美術展」のために来県された回復者の皆さんには、出会いや学びの機会を与えていただきました。また、旧友との再会を果たしたり、音信不通だった親族の方と初めて会われたりした回復者の方もいました。

ハンセン病の後遺症による様々な身体の不自由さや困難を乗り越え、人間らしく生きることを追及する中で制作された作品を展示するだけでなく、啓発や交流によって、ハンセン病問題の理解を深め、回復者の方たちと私たちとの架け橋の役割を担ってきたのが「架け橋美術展」です。



架け橋美術展の様子

■交流事業について

「架け橋の会」では、年に数回各地の療養所を訪れています。瀬戸内三園（長島愛生園、邑久光明園、大島青松園）は、夏祭りや秋の総合文化祭にも参加して交流しています。昨年度は久しぶりに熊本の菊池恵楓園を訪問しました。また、県主催の「里帰り事業」にも参加しています。

■今後の活動について

○教育部会

2か月に1回、学習会を行っています。啓発用の資料やパネルも作っています。

○「ハンセン病問題」教育交流会

ハンセン病問題について、実践を中心に交流しています。

○研修のサポート

市民団体や人権教育推進協議会、教職員などが現地研修として療養所を訪問される際に協力しています。



現地研修の様子

○『架け橋 交流・講演会』～ハンセン病問題 “真の人間回復”をめざして～

回復者の方との交流、教育、啓発に重点をおき、本年度から開催する予定です。人間の尊厳を求め続け、差別のない「佳き日」に向かって闘い続ける回復者と家族のみなさんと共に、あらゆる差別の撤廃に向けて取り組みます。

架け橋 長島・奈良を結ぶ会

架け橋 長島・奈良を結ぶ会

◇回復者や回復者の家族の方々との交流を広げ、ハンセン病差別をなくすために活動して下さる方を募集します。

◇連絡先：事務局長 中森幹也

TEL:090-8575-1239

E-mail:kakehashi.nara@gmail.com